

## 関東ブロック女性災害ボランティアに参加して

9月23日(金)～25日(日) 大園 緑 (記)

東日本大震災岩山女性ボランティア隊として82名で宮城県石巻市に行って来ました。天候は前日まで台風15号で、何かと案じていたのが嘘のような穏やかな秋晴れでした。

### 9月22日(木)22時 浦和駅西口に集合。

車は東北自動車道を、暗闇の中、連休で多い光と共に【鳴瀬奥松島】を目ざしひたすら走り続けました。それぞれの思いを抱きながら、近づくにつれ必至に外に釘付けされているようでした。夜明けに道の駅【上品の郷】に着いて、仮眠をとり東京からのバス3台と合流、関東勢82名が集結しました。今回、埼玉からは車3台15名(内バス3名乗車)参加しました。

(わらび1名、大宮7名、埜歩歩1名、所ハイ3名、ビスターリ1名、三郷2名)

### 9月23日(金)7時出発。

仙台平野の石巻市、見えている所は片付いているが、あの被害の現実・事態の深刻さを感じながら、牡鹿半島の<sup>おしか</sup>大原地区仮設住宅へ向かいました。ここで群馬県連隊が加わり9時～15時まで山間道路のがけ崩れによる土砂の撤去作業をしました。長袖、長ズボン、長靴、マスク、作業手袋という装備で慣れない力の加減もわからず、スコップ等一輪車を使っての力仕事でした。そのあとを竹ぼうきで掃いて道端の空き缶・ビン・ゴミも忘れずに拾い、綺麗になっていくのを皆で喜びあいました。そのあと風呂に入り宿泊となる「水沼東部構造改造センター」へ行き、炊事班が用意してくれたカレー等の夕食を美味しく頂き21時には就寝しました。

### 9月24日(土)5時 起床 朝食 8時出発。

牡鹿半島の牡鹿公民館(ボランティアセンター)に兵庫・京都組と合流。そこには一般のボランティアが大型バスで何台も集まってきており、学生らしき若者が沢山来ていました。海側の道路に向い、昨日と同じ土砂の撤去作業を9時～15時までしました。

重たい泥をすくう作業は大変ですが数の力とは凄い!また慣れたせい、手際もよく声を掛け合い、流れるように延々と作業移動しました。風呂で汗を流しセンターに戻り18時より夕食及び仲間と宮城県連との交流会があり楽しい時を過ごしました。

### 9月25日(日)5時 起床 朝食 8時解散式。

誰もが強い思いで集まった仲間です。この企画を通じて岩山の素晴らしさを感じ、また『会いたい』と思いました。

それから石巻港周辺と小学校裏側に突き出た【日和山】<sup>ひよりやま</sup>から惨状を見て、巨大地震による津波の恐ろしさを肌で感じました。

ここでそれぞれが別れ、埼玉車3台は北上川河口にある【大川小学校】へ行き、沢山

の幼い子供たちと教職員の無念さを感じ、更なる切実な思いを実感しました。  
宮城県連会長さんから『どうぞ来て見て下さい。そして伝えて欲しい。明日は我が身で  
す』との言葉は印象的でした。

被災地に立ち、活動し、被災者と語り、多くの事を知り学びました。  
この機会を与えてくれた労山の皆さんの心意気とパワーに感謝しお礼申し上げます。



日和山地区



道路整備休憩



宮城県連 岡さん